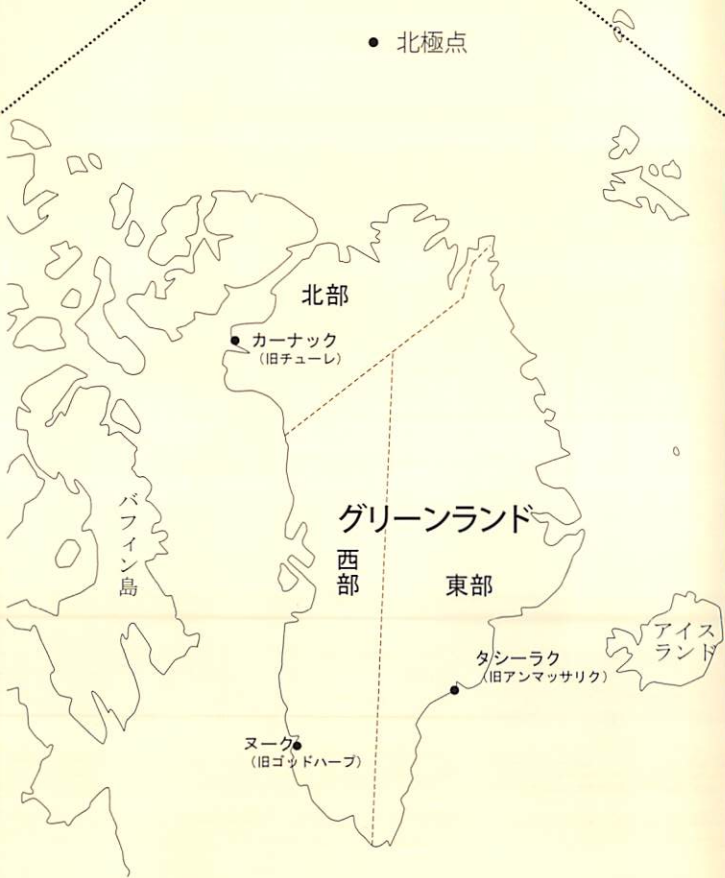


● 北極点



グリーンランド全体をひとくくりにした文化認識がかたちづくられたのは最近のことです。ヨーロッパとの接触の時期の違いなどを歴史的背景として、北部・西部・東部の三つの地方の間には、今日にいたるまで言語や文化に差異がみられます。



© Mads Pihl



© Edvard Frederiksen

北海道立北方民族博物館 第28回特別展

GREENLAND

極北の島 グリーンランド

氷海のハンター、エスキモー

An Arctic Island of Eskimo, Hunters on Icy Waters

観覧料	特別展	常設展	セット割引
一般	450(300)円	450(360)円	700(660)円
65歳以上	300円	無料	—
高大生	150(120)円	150(120)円	240(240)円

※ ()内は10名以上の団体料金



© Mads Pihl



女性用衣服【一部】(当館蔵)

 **北海道立北方民族博物館**
Hokkaido Museum of Northern Peoples

(指定管理者：一般財団法人北方文化振興協会)

〒093-0042 北海道網走市宇潮見309-1

(道立オホーツク公園内)

TEL: 0152-45-3888 / FAX: 0152-45-3889

<http://hoppohm.org>

2013. 7.13 (土) ▶ 10.14 (月・祝)

開館時間 9:00 - 17:00

[10月は9:30 - 16:30] 休館日 10.7 (月)

主催 北海道立北方民族博物館 後援 デンマーク大使館
協力 国立民族学博物館
Visit Greenland (グリーンランド政府観光局)
スチュアート ヘンリ氏 高橋美野梨氏 林直孝氏
岸上伸啓氏 齋藤玲子氏

極北の島グリーンランドの氷と海と、人の暮らし

グリーンランドは、北極点に近い世界最大の島です。島の総面積の80%以上に当たる内陸部は、最大厚さ3000mを超えるという氷床で覆われています。そのため、人びとは、氷床のない海岸地域で暮らしています。

エスキモー文化の技術と知恵

この島の住民の大多数は、シベリア北東部からアラスカ西部やカナダ北部を経てグリーンランドまで広がるエスキモー文化を受け継ぐ人びとです。

地球の北方地域のなかで、エスキモーは最も高度な寒冷地適応をした民族として知られています。エスキモー文化に共通して重要な特徴は、狩猟を生活の基本とすることにあります。グリーンランドでは、特にアザラシ類や鯨類など海獣の狩猟が寒冷な環境での生活を支えてきました。

北の海の資源を獲得し、寒さのなかで生きるエスキモーの技術や知恵は、世界的な極地探検にも活かされました。

日本人冒険家の植村直己は、1972年にグリーンランド北部の村で9ヶ月間生活し、そこでイヌぞりや極地生活の技術を学びました。そして1978年、グリーンランド式のイヌぞりで、単独北極点到達、同年にグリーンランド縦断という世界的な冒険を成し遂げました。



冒険家・植村直己(右)とエスキモーのご夫婦(写真提供:文藝春秋)



イッカクの牙(当館蔵)



子ども用銛(当館蔵)

ヨーロッパとのつながりと自治

現在グリーンランドは、デンマークの自治領です。1721年にハンス・エゲデらによるキリスト教宣教とともに植民が始まって以来、デンマークから政治・経済的な影響を強く受けてきました。20世紀から次第に自治の力を強め、1979年には首都ヌークにあるグリーンランド自治政府が内政のすべてを決定する自治権を得ました。



カヤック模型
(国立民族学博物館蔵)



ウミアック模型
(国立民族学博物館蔵)

グリーンランド人

今日のグリーンランド住民は、自分たちのことを公式に「カラーリトKalaallit」と称しています。これは、グリーンランドの公用語カラーリストKalaallisut(東エスキモー語の一つ)で、グリーンランド人を意味します。

グリーンランドのことは、カラーリトヌナートKalaallit Nunaat(グリーンランド人の土地)といいます。



グリーンランドの自治旗



民族衣装を着た子どもたち(1996年ヌークにて、齋藤玲子氏撮影)